

2021 DISCLOSURE

アニコム ホールディングスの現状



日頃より、アニコムホールディングスをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社の経営方針・事業概況・財務状況などについて皆様にご理解いただきたく、

「アニコムホールディングスの現状 2021」を発行いたしました。

本誌が、当社をご理解いただく一助として、皆様のお役に立てれば幸いに存じます。

※本誌は「保険業法第271条の25」及び「同施行規則第210条の10の2」に基づいて作成したディスクロージャー誌（保険持株会社に係る業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

■ アニコムグループ経営理念



ani+com=anicom

アニコムグループは、それぞれの命が持つ個性の違いを互いに尊重しあい、
分業協力することで、世界中に「ありがとう」を拡大します。

アニコムグループでは、社名に掲げた
「ani（命）+communication（相互理解）=∞（無限大）」
を企業活動の根源にすえています。

命あるものがお互いに理解し、ともに一つの目的に向かって力を合わせることで、
これまで不可能と思われていたことが可能になると考えているからです。

私たちはペット保険事業を柱にこの無限大の価値創造力を活かし、「ありがとう」を拡大します。

■ アニコムグループ経営方針

1 オープン・マネジメント

■アニコムグループは、オープンで、「対話のできる法人」を目指します。

組織が大きくなるにつれて、ステークホルダーの皆様の声は、法人に届きにくくなりがちです。アニコムグループでは、ステークホルダーの皆様から「見える」「話せる」と実感していただける「対話のできる法人グループ」を目指してオープン・マネジメントを推進していきます。

2 マーケットアウト・マネジメント

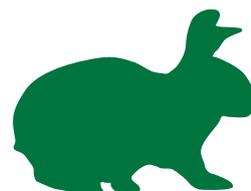
■アニコムグループは、常にお客様の視点に立って、新しい価値の創造に努めます。

アニコムグループは、常にお客様の視点に立ち、お客様の求めるサービスを創り出す、マーケットアウト（お客様の真のニーズにお応えすること）を意識することで、常に柔軟な経営を徹底し、お客様の願いを実現するとともに、新しい価値を創造することに努めます。

3 ロールプレイング・マネジメント

■アニコムグループは、個々に与えられた役割（ロール）を最高に演じる（プレイング）ことで、個人と組織の飛躍的成長を促進します。

アニコムグループは、個々と組織の役割を明確にし、その役割を役者のごとく最高に演じることで、何事にも果敢に挑戦し続け、常に新たなスキルを吸収し、飛躍的な成長を促進させる経営を実践します。

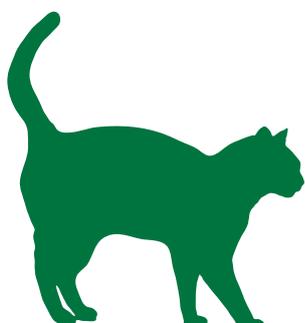


contents

シンボルマーク



「CO」には、「つなぐ」という意味があり、アニコムの「『命』と『命』がお互いに理解し、協力しあう」という企業理念に合致することから、アニコムグループロゴをはじめ、アニコム ホールディングス、アニコム フロンティア、アニコム先進医療研究所のロゴとして使用し、アニコム パフェではモチーフとして利用しています。「CO」ロゴには、「命」をイメージする植物の芽の色、アニコムライトグリーンを配しています。



トップメッセージ	2
アニコムグループの沿革	4
目指す姿	6
アニコムの強み	8
予防への取り組み	10
トピックス	12
CSR（企業の社会的責任）の取り組み	14
ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組み	15
新型コロナウイルス感染症に対する取り組み	16

I 経営について

1. アニコムグループの概要	18
2. 業績サマリー	20
3. 2020年度の事業概況	21
4. コーポレート・ガバナンスの状況	24
5. 内部統制システムの構築	26
6. グループのリスク管理体制	28
7. コンプライアンスの推進	30
8. 反社会的勢力の排除	32
9. 利益相反取引の管理	33
10. 情報の開示	34
11. 個人情報の保護	35

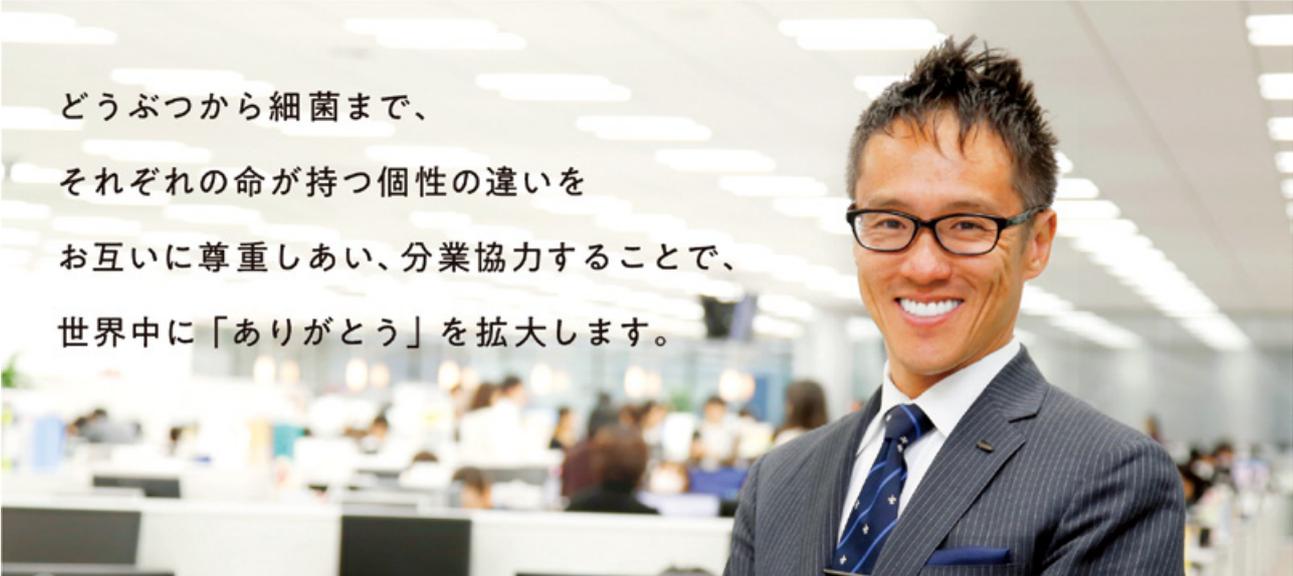
II コーポレートデータ

1. 株式・株主の状況等	40
2. 役員の状況	43
3. 会計監査人の状況	45
4. 組織図及び従業員の状況	45

III 業績データ

1. 主要な経営指標等の推移（連結）	47
2. 連結財務諸表	48
3. 主要な経営指標等の推移（単体）	66
4. 単体財務諸表	67
5. 保険金等の支払能力の充実の状況	73
6. 当社の子会社である保険会社の保険金等の支払能力の充実の状況	74

トップメッセージ



どうぶつから細菌まで、
それぞれの命が持つ個性の違いを
お互いに尊重しあい、分業協力することで、
世界中に「ありがとう」を拡大します。

平素より、アニコム保険にご契約いただいているお客さま、株主の皆さま、ビジネスパートナーの皆さまにおかれましては、ご支援を賜り誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルスに感染された方や感染拡大により生活に影響を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスは、人々に「孤独との戦い」をもたらしました。そのような中、私たちアニコムでは何ができるのかを考え、少しでもペットと暮らす飼い主さまのあんしんにつながるよう、飼い主さまが新型コロナに感染した場合に、その家族であるペットをお預かりする“#stayanicom プロジェクト”を行っています。このプロジェクトは、飼い主さまから「私が感染したら、この子はどうすれば良いの？」という不安の声がアニコムに寄せられたことから生まれた取組みです。今後も、このような取組み等を通じて、ペットに関するサービスを提供する企業としての社会的責任をしっかりと果たしていきたいと考えています。

そして、今、私たちアニコムは第二期創業期の真っ只中にいます。2020年は、新型コロナウイルスにより人々の価値観やライフスタイルの変化が起きる中で、新たにペットをご家族にお迎えする人々が増え、“心の発電所”であるペットの存在が非常にクローズアップされた年であったと考えています。その中で動き出している第二の創業では、これまでのペット保険事業を中心に、動物の遺伝子検査、動物病院の運営や再生医療の提供、ブリーダーマッチングビジネスなどの新たなサービスを手幅広く展開しています。

今後、これらの事業を力強く推進し、それぞれの命が持つ個性の違いを互いに尊重しあい、分業協力することで、世界中に「ありがとう」を拡大していきます。

2021年7月

アニコムホールディングス株式会社
代表取締役

い森伸昭

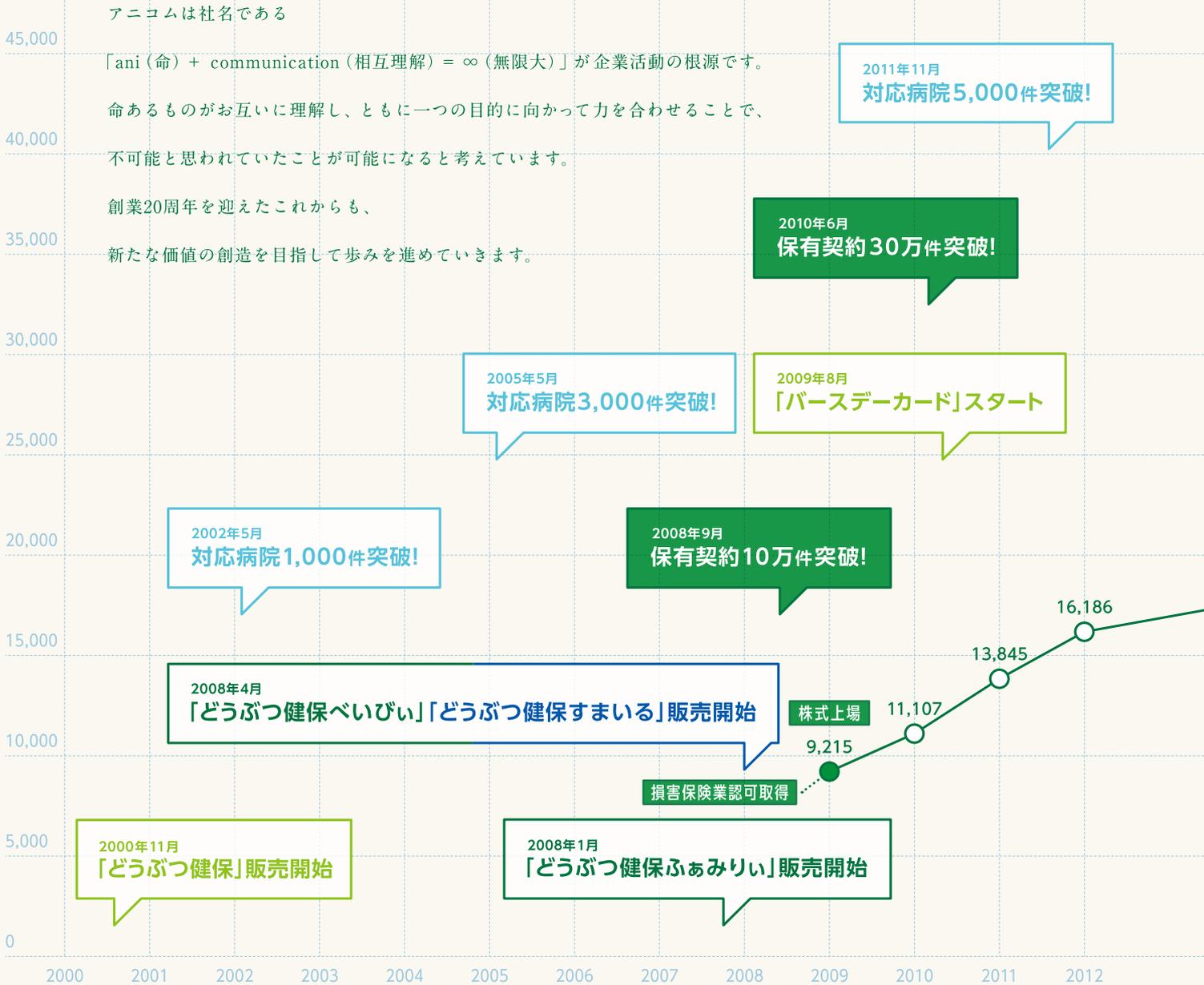
共に働くアニコムファミリー



現
状

アニコムグループの沿革

50,000 (百万円)



沿革

Development

2000年

7月 (株)ピーエスピー設立

2004年

12月 アニコム バフェ(株)設立

2005年

1月 (株)ピーエスピーから
アニコム インターナショナル(株)に社名変更
2月 アニコム フロンティア(株)設立
6月 コールセンター開設
7月 近畿支店開設
10月 北海道支店開設
九州支店開設

2006年

1月 保険会社設立準備子会社アニコム
インシュアランス プランニング(株)設立
6月 anicom(動物健康促進クラブ)が
関東財務局へ特定保険業者の届出
8月 中部支店開設

2007年

12月 アニコム インシュアランス プラン
ニング(株)からアニコム損害保険(株)へ
商号変更
保険持株会社の認可
損害保険業の免許を金融庁より取得

2008年

1月 アニコム損害保険(株)営業開始
6月 アニコム インターナショナル(株)
からアニコム ホールディングス(株)に
商号変更

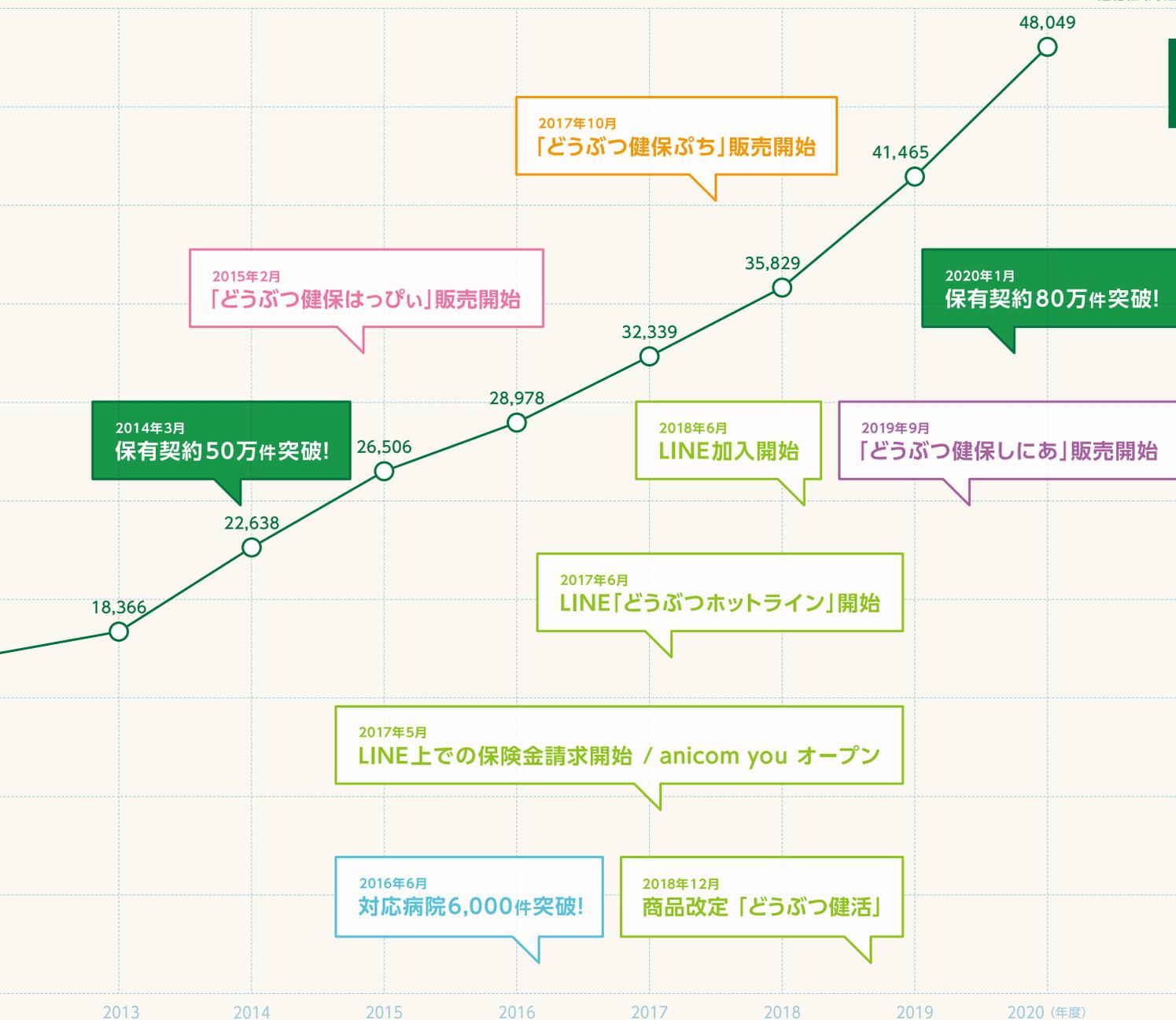
2009年

1月 オンライン加入手続開始
4月 anicom(動物健康促進クラブ)が
関東財務局へ廃業届を提出

2010年

3月 アニコム ホールディングス(株)が
東証マザーズ上場

連結経常収益



現
状

2014年

- 1月 現アニコム先進医療研究所(株)設立
- 5月 東北支店開設
- 6月 アニコム ホールディングス(株)が東証1部に市場変更
- 10月 中四国支店開設

2015年

- 7月 アニコム キャピタル(株)設立
- 9月 アニコム先進医療研究所(株)の横浜ラボ始動

2016年

- 4月 セルトラスト・アニマル・セラピューティクス(株)設立(アニコム ホールディングス(株)49%、富士フイルム(株)51%)

2017年

- 3月 Hong Kong Anicom Company Limited (香港愛你康有限公司)設立

2020年

- 1月 (株)シムネット完全子会社化

2021年

- 3月 アニコム先進医療研究所(株)がセルトラスト・アニマル・セラピューティクス(株)から再生医療事業を承継

目指す姿

「涙を減らし、笑顔を生み出す保険会社グループ」を目指して

アニコムグループは、「涙を減らし、笑顔を生み出す保険会社グループ」を目指すことをコーポレートビジョンに掲げ、家族の一員であるどうぶつにも安心して医療を受けることができる環境を整え、ケガや病気を「予防」し「笑顔」につなげ、すべてのどうぶつの幸せと安心を創造することを目指しています。

■会社経営の基本方針

アニコムグループは、社名に掲げた「ani（命）+communication（相互理解）=∞（無限大）」を企業活動の根源にしています。これは、命のあるものすべてがお互いに理解し、尊重し合い、ともに一つの目的に向かって力を合わせることで、これまで不可能とされていたことが可能になると考えているからです。

こうした考えのもと、私たちはペット保険事業を柱に、この無限大の価値創造力を活かし、世界中に「ありがとう」を拡大することを、グループの経営理念として掲げています。



■経営VISION

これまでの当社グループは、“涙を拭く保険会社グループ”として、どうぶつに生じた病気・ケガに対して、保険金の給付サービスや治療等のサービスを提供し、これらのサービスの質の向上することを通じて、日本国内でのペット保険の普及・促進に取り組んできました。その結果、国内でのペット保険の普及率が約12%にまで伸長する中で、国内におけるペット保険事業のリーディングカンパニーとしての地位を確立しました。

そして、2019年度からは、当社グループの第二期創業期と位置付け、これまでの歩みを更に加速させ、“涙を拭く保険会社グループ”から、“笑顔を生み出す保険会社グループ”へと成長するための取組みを開始しています。その取組みとは、ペット保険事業を行う中で得られた、どうぶつの品種、年齢や疾病などのデータに加えて、遺伝子検査事業により得られた遺伝子の情報や、保険商品に付帯するサービスである腸内フローラ測定の結果等の膨大なデータを活用し、病気・ケガを分析し、「健康度」を見ることなどにより、病気を未然に防ぎ、ペットや飼い主の笑顔をつくっていくことです。私たちアニコムは、当社グループが保有するあらゆるデータを活用し、病気・ケガを未然に防ぐことである“予防”こそが、保険会社グループである真の役割であると考えています。こうした取組みを通じて、ペット保険の独自性・当社グループの優位性を確立し、展開していくことを第二期創業期における戦略として位置付けています。

■長期 経営VISION

どうぶつが生み出す「心の発電力」を高めることで
新たな有効需要とエネルギーを創出し、
どうぶつと人間双方の健康寿命延伸に貢献します。

■中期 経営VISION

どうぶつ業界のインフラプレーヤーとして、すべての生命の
多様性を認識し、「予防による健康寿命延伸」という
新たな価値を提供します。

■2021 経営VISION

グループのリソースを結集し、どうぶつ業界における
川上から川下までのすべてを発展的につなぐ
インフラプレーヤーの確立に向けた事業化を加速します。



きみが、心の発電所。

アニコムの強み

当社グループの主たる事業であるペット保険事業は、2007年から2020年までの13年間連続で国内シェアNo.1（※）の地位を獲得しています。

（※） ペット保険会社各社のディスクロージャー誌及び決算公告等から当社が推計したものの。

1. 「窓口精算システム」の確立による圧倒的な利便性



アニコム損保は、人の国民健康保険と同様、窓口で保険証を提示すれば、自己負担分を支払うだけで済む仕組み「窓口精算システム」を日本で初めて構築しました。このシステムは、少額かつ高頻度に利用されるペット医療の特性に合わせ、保険の使いやすさを重視したビジネスモデルであり、アニコム損保の最大の強みだと考えています。年間約300万件の保険金請求のうち、約85%が「窓口精算システム」による請求であり、振込手数料や郵送費、査定等の事務コストを大幅に圧縮することができます。現在、窓口精算ができる「アニコム対応病院」は約6,500病院（全国の病院の5割以上）を超え、その数は他社と圧倒的な差があります。また、2017年5月からはコミュニケーションアプリ「LINE」での保険金請求サービスを業界で初めて開始し、窓口精算ができなくても、郵送などの手間なく、早く簡単に保険金請求ができるようになっています。

2. 全国をカバーする営業力と、豊富なチャネル

[01 NB (New Born) チャネル]



ペットショップの生体販売時にペット保険を販売する、アニコム損保最大のチャネルです。ペットショップ代理店では、アニコム損保の主力商品のひとつである「どうぶつ健保べいびい」を販売しており、お客様がペットの購入と同時に保険を申し込むことで、ペットショップの店頭からペットを連れて帰る瞬間に補償が開始されます。現在、猫の譲渡会やブリーダーからの直販チャネルの開拓も進めており、さまざまなペットとの「出会いの場面」における保険販売に注力していきたいと考えています。

[02 一般チャネル]



Web（当社直販・Web代理店）や銀行窓口などの金融機関の窓口で販売するチャネルです。主に、既に飼育されている全年齢の犬や猫などが対象であり、豊富なマーケットが特徴です。NBチャネルに比べ加入時の年齢が高いことから、損害率への影響を考慮しながら戦略的なマーケティングを行いつつ拡大させており、今後、特に注力していくチャネルです。

3. 私たちの6人に1人が獣医師

当社グループには、獣医師資格を持つアニコムファミリーが100名以上在籍し、日本で最も獣医師が集まる企業のひとつです。この専門家集団の利点を活かし、他社には真似できない保険引受体制や査定体制の質の向上を図っています。また、疾患統計の抽出・分析、遺伝子や腸内細菌等の研究、論文や学会での発表、専門誌への執筆、獣医師向けセミナーの実施など、専門性を活かして獣医療業界の発展にも寄与しています。



4. ペットに寄り添うカスタマーサービス

獣医師が集まる「信頼感」のブランドを顧客サービスにつなげるため、電話やLINEで獣医師に相談できるサービスなどを展開し、ペットの健康を第一に考えたサービスの拡充を図っています。具体的には、メールマガジンやWebメディア「anicom you」などを通じて、予防情報を配信していることに加え、ペットが迷子になった際に利用するための迷子検索サポートや、対応病院検索サイト、全国で受けられる優待サービスなどの多種多様なサービスを提供し、顧客満足度の向上を図っています。



5. 予防をキーに広がるインフラビジネス

ペットの生涯すべてと接するインフラビジネスの展開を図るべく、川上（生まれる前）から川下（亡くなる前後）まで、「予防」をキーワードにビジネスの展開を図っています。川上では、遺伝子やブリーディングに関する研究。川中では、動物病院経営や動物病院向けカルテ管理システム「アニレセクラウド」の販売、ペット向け腸内フローラ検査・販売事業など。川下では、高度先進医療などを展開しています。また、ビッグデータの活用にも力を入れており、のべ1,500万件を超える保険金請求データから、動物医療に関する疫学統計を公開する「家庭どうぶつ白書」や、AI（人工知能）を活用した研究など、アニコムにしかできない独自の研究・事業を行い、顧客満足や獣医療への貢献のみならず、保険金の削減にもつなげています。

遺伝子検査の取組み

アニコムグループでは、入って健康になる保険を提供する予防型保険会社グループに向けた取組みのひとつとして、遺伝性疾患の撲滅に向けた取組みを行っています。

これまでの長い歴史の中で、たくさんの犬猫たちが遺伝性疾患で涙を流してきました。

しかし、遺伝性疾患の研究が進みつつある現代においては、適切なブリーディング等によって避けられる病気がいくつもあります。

■防ぐべき遺伝病の撲滅・管理宣言

遺伝病には「致命的な病気」と「QOLを低下させるものの生存可能な病気」があります。アニコムでは、前者を『撲滅』すべき遺伝病、後者を『管理』すべき遺伝病と位置付け、主にブリーダーや取引先のペットショップに向けて、遺伝子検査の提供と、その結果にもとづく適切なブリーディングや生体販売の提案を行ってきた結果、特定の遺伝病の『撲滅』または『管理』に至ったと判断できる状況になりました。こうしたブリーディングサポートにより、遺伝病のない健康な犬猫の流通を促すとともに、疾患に関連する未知なる遺伝子の解明を目指し、遺伝病に苦しむどうぶつたちを減らしていきます。



■多様な遺伝子検査サービスの提供

アニコムグループでは、次世代シーケンサーを用いた解析技術により、これまでの遺伝性疾患の検査に加え、性格（行動）や品種、毛色、体質、親子判定などを一度に測定することが可能なカスタムパネルの開発に成功しました。これにより、ブリーダー向けには、親子判定、毛色遺伝子検査などが可能になるほか、最適な交配や産子数の増加が期待されることになり、ペットショップや譲渡団体向けには、品種判定、性格・体質遺伝子検査の提供が可能となりました。今後もこうした研究を、新たなサービスの開発、提供につなげていきます。



「どうぶつ健活」で予防促進

ご契約者が無料でペットの腸内フローラ測定を受けられる「どうぶつ健活」は、2018年12月から提供を開始し、2020年度は15万件を超えるお申し込みをいただきました。腸内フローラ測定の結果から、病気のなりやすさを判定し、測定結果に応じて、無料で動物病院での健康診断が受けられます。今後も、ご契約者の予防促進につながるようデータの分析に努めてまいります。



その他予防に向けた取組み

■予防につなげる研究・開発

予防型保険の確立を目指し、ひとつでも多くの傷病を1秒でも早く減らすことができるよう、研究開発に取り組んでいます。グループ内の研究所「アニコム先進医療研究所」には、先進的な研究機器と専門の人材を揃え、科学的、疫学的に研究を行っています。多くの企業や大学との共同研究を進めており、多数の論文や学会発表を行っています。これらの成果をどうぶつの傷病の診断や治療、そして予防につなげるべく、グループ全体で多角的な研究と新規事業開発に取り組んでまいります。

■STOP熱中症プロジェクト



アニコム損保は、「無くせる病気」のひとつである熱中症の予防啓発活動を2013年度から継続しています。

株式会社ライフビジネスウェザーにご協力いただき、犬の体高や代謝などを考慮して開発した独自の熱中症指標を用いて全国10地点の「熱中症週間予報」をアニコム公式InstagramなどのSNS上で、毎週金曜日に配信しています。お留守番時の室温設定やお出かけの予定を考える際にお役立ていただくなど、多くの皆さまにご活用いただきました。

熱中症は、飼い主が正しい知識を持つことにより「無くせる病気」です。熱中症で苦しむどうぶつがいなくなることを目指し、今後も予防啓発に取り組んでまいります。



■『家庭どうぶつ白書 2020』発行

アニコムグループでは2010年より、アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」の保険金支払い実績、独自に実施したアンケート調査の結果など、家庭どうぶつに関わるさまざまなデータを「家庭どうぶつ白書」として1冊にまとめ、毎年発行しています。

2020年12月17日に発行した『家庭どうぶつ白書2020』は、誕生日ごとのなりやすい病気・なりにくい病気、犬種別に見たなりやすい病気などを掲載しています。

表紙には、SNSを通じて公募した犬猫を採用するなど、一般の方にも、病気やケガ、その予防に関する情報に興味を持っていただけるよう努めています。引き続き、皆さまのお役に立つ情報を提供してまいります。



トピックス

■明治安田生命が取り扱い開始

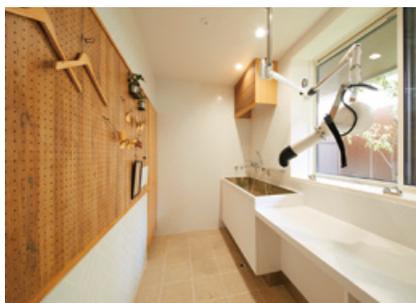
2020年10月から、明治安田生命がアニコム損保の募集代理店となり、「えがおのペット」という商品名でアニコム損保のペット保険の取り扱いを開始しました。これにより、アニコム損保では明治安田生命の販売チャネルを通じて、より多くの飼い主様にペット保険を提供することが可能になりました。また、明治安田生命は、商品ラインアップにペット保険を追加することで、お客様の幅広いニーズへの対応や、ペットをきっかけとした関係作りが期待できます。



明治安田生命マスコットキャラクター
「ライト!くん」と「ランプーちゃん」

■ペット共生住宅「アニコフローラ東中野」竣工

「どうぶつがどこよりも過ごしやすい場所」をコンセプトにした「アニコフローラ東中野」が2021年3月28日に竣工しました。こだわりの住居設備のほか、植栽のプロが監修した共有スペース、プロ仕様の本格的なトリミングスペースなどアニコム損保だからこそ提案できるどうぶつと人のための設備とサービスを採用しています。今後も「住むことで、飼い主はもちろんペットも心身ともに健康になる」住まい作りを目指してまいります。



■動物の再生医療事業の承継

2021年3月に、富士フィルム株式会社と当社の合併会社であるセルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社で行ってきた動物の再生医療・細胞治療に係る事業を、アニコム先進医療研究所株式会社が承継しました。

セルトラスト社では、細胞治療の実用化に向けた診療方法の開発や、必要となる細胞を普及するための社会システムの構築といった事業を展開してきました。これまで培ってきた資産やノウハウをアニコム先進医療研究所で引継ぎ、アニコム損保をはじめとしたアニコムグループ間でのシナジーを効かせることで、治らない病気を治し、あるいは改善していくため、グループ丸となって取り組んでいきます。

●幹細胞治療後、体重増加した一例



▲幹細胞治療前 体重5.8kg

▲幹細胞治療2年後 体重11.0kg

■「ペットの顔写真から病気を予測する」システムの特許を取得

当社は、学習済みモデルを用いてペットの顔写真から病気を予測する疾患予測システムとその疾患予測方法について、世界初となる特許を取得しました（特許第6734457号）。本特許の発明は、AI（人工知能）技術を用いることで、ペットの顔写真のみから一定期間内に眼や耳、皮膚疾患といった病気にかかるか否かの予測ができるというものです。

今後、こうした技術を活用することで、品種や年齢といった大枠での情報だけでなく、より細分化された、それぞれの個体に応じた病気のリスクも予測できることから、本特許を活用し、新サービスの提供など従来以上にOne to Oneの『予防』の実現を目指していきます。



CSR（企業の社会的責任）の取り組み

アニコムグループでは、動物に関わる企業として、「動物の尊厳」をCSR活動方針の軸としており、『動物の尊厳に関する宣言』を社内で掲げています。宣言の中では「すべての動物は尊厳をもつこと」「いかなる動物も虐待の対象とはならないこと」などを謳っています。動物たちの尊厳を守り、そして高めることこそが、私たちのCSR活動における使命だと考えています。

■動物愛護啓発活動の実施

アニコムグループでは、2012年度からグループ会社横断プロジェクト「PAW（Project of Animal Welfare）」を立ち上げ、動物愛護や動物福祉に資する活動を行っています。

2020年度は、動物愛護週間にあわせ、9月24日に埼玉県と共同でJR浦和駅において「保護犬・保護猫を家族に迎える選択肢を考えよう」をテーマに、ノベルティを配布しました。あわせて自社メディア「anicom you」に、どうぶつの適正飼養に関する記事を掲載するなど、啓発活動を行っています。



■猫の譲渡会の開催

飼い主のいないどうぶつに新しい家族との出会いの場を提供するべく、動物愛護団体等が主催する譲渡会に会場提供などの協力をしています。2020年度は中部支店でのオンライン譲渡会を含め、5回の譲渡会開催に協力しました。今後も、提携先と連携し、1頭でも多くのどうぶつに幸せなご縁がつながるよう活動を続けてまいります。

■災害救助犬の育成への協賛

アニコムグループは、一般社団法人ジャパンケネルクラブが行っている災害救助犬（地震などの災害現場で、瓦礫に覆われた被災者を捜索し、自衛隊、消防、警察等による救助部隊をサポートする犬）の育成活動に協賛しています。

訓練所で訓練を受け、認定試験に合格した犬だけがJKC災害救助犬として認定を受け、被災現場等へ出動することができます。2020年の認定試験には、65頭がチャレンジし28頭が合格しました。また、毎年9月に開催される災害救助犬競技大会には、39頭が参加し、服従や捜索の技能を競いました。

2021年3月末時点で、出動が可能な認定犬は153頭です。

アニコムグループでは、どうぶつ業界のインフラプレーヤーとして、積極的なESGの取組みを展開することを中期経営計画2019-2021で掲げ、各種取組みを展開しています。

Environment（環境）

■「地球のお医者さん」を目指します

人間やどうぶつだけでなく、すべての『命』と『命』がお互いに理解し、協力しあうという企業理念の下、細菌・微生物・植物の保護、保全に向けた取組みや研究を行っています。

WWFジャパン（公益財団法人世界自然保護基金ジャパン）の活動に対する支援を通じ、野生動物の保護や自然環境の保護に資する取組みを行っています。2020年度は、日本では生息していない野生動物をペットにしたいいわゆる「エキゾチックアニマル」といわれる動物の密輸問題について、WWFジャパンの講師を招き社内セミナーを開催しました。また、「One Health」の早期実現に向けWWFジャパンが示した「共同宣言」に賛同しています。

■環境に配慮した活動を続けます

約款や冊子類、申込書・請求書・お客様宛通知などの帳票類の電子化や会議体資料のペーパーレスを推進するなど、物流や紙の削減に取り組んでいます。また、どうぶつと一緒に行動するゴミ拾い運動を関係各所と連携し、続けていくことで糞便問題にも取り組めます。

Social（社会）

■どうぶつの尊厳を守ります

どうぶつに携わる会社として、『動物の尊厳に関する宣言』を社内に掲げ、殺処分ゼロ、動物虐待ゼロ、飼育環境向上に対してアクションを起こします。

2020年度は、日本獣医師会、福岡県獣医師会、九州動物福祉協会と、「One Health」に基づく動物愛護の推進に向けた協定を締結しました。本協定を通じて、日本におけるさらなる動物愛護の推進を目指していきます。

■女性の活躍を推進し、また、多様な家族の形に寄り添います

2021年3月時点で女性社員は約6割、管理職のうち約3割、役員では5名と、多くの女性がグループ全体で活躍しています。また、ペット保険の約款に定める「被保険者」に、同性のパートナーも「配偶者」に含む改定を行っています。

■人権啓発の取組みを推進します

あらゆる人の基本的人権を尊重すべく、人権基本方針を策定するとともに、ハラスメント防止に向けた活動を推進していきます。

Government（ガバナンス）

■現在の強固なガバナンス体制を継続します

社外取締役を増員し（4名）、執行役員制度を導入することで、経営の監督と執行を明確に分離しています。社外取締役を主要な構成員とする「指名・報酬・ガバナンス委員会」で、代表取締役の指名や報酬のほか、内部管理態勢等を含むガバナンス全体の実効性について議論を行っています。

■取締役会・経営会議の議論を活性化し、より実効性の高いガバナンスを目指します

社外取締役への事前説明を徹底し、会議における議論を深度あるものとしています。

新型コロナウイルス感染症に対する取組み

■新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、以下の対応を行っています。

〈ご契約者〉

○保険適用対象の拡大

外出を控える方が多い中、必要な獣医療が提供できる環境となるよう「ペットを伴わない通院」も補償の対象とする特例措置を実施しています。

期間 2020年2月25日から

○継続のお手続き、保険料のお支払いの猶予

通常のご契約手続きが困難となるご契約者を対象に、お手続きに一定期間の猶予を設ける特別措置を実施しています。

期間 2020年3月13日から2021年6月30日まで

■#styanicom プロジェクト

2020年4月10日から、新型コロナウイルスに感染された方のペットを無償でお預かりする「#styanicom プロジェクト」を実施し、犬58頭、猫34頭・うさぎ2頭・ハリネズミ1頭の計95頭をお預かりしてまいりました（2021年4月末時点）。

このプロジェクトが新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に貢献したとして、環境省（小泉進次郎環境大臣）から感謝状を授与されました。ご契約者の皆さまをはじめとする多くの方々のご支援が、表彰につながったと考えています。

今後も、人とどうぶつの暮らしを支えるサービスを提供できるよう努めてまいります。

